

全国一般大阪

2023年
8月31日
NO.750

全国一般大阪地方労働組合
大阪市中央区本町橋2-23
TEL 06-4301-4655
FAX 06-4301-4656
発行人 福島 憲一
編集人 太田 崇晴

第64回定期大会を成功させよう！

一年間の運動総括と組織強化と現状について協議！

執行委員会で運動方針議論！

7月15日の第10回執行委員会は主に運動方針案の議論を中心に、8月23日の第11回執行委員会は、第64回定期大会の執行委員の任務分担や対応など、または全国一般大阪の今年立ち上がった2単組の現状の報告を中心に協議した。定期大会開催の詳細は通報にて要請し、多くの職場やユニオンにおおさかの仲間の参加を呼びかけて盛大にしていく。

2024運動方針(案)については、第10回執行委員会及び五役会議の中でも議論を重ねてきた。運動方針の基調に関しては前号(No.749号)で示した6項目が課題である。また具体的な課題として、①2024春闘、②一時金闘争、③最低賃金闘争、④労働時間短縮闘争、⑤雇用と権利を守る闘い、⑥すべての仲間が安心して働ける続けるために、⑦男女が安心して働ける職場づくり、⑧健康と安全を守る闘い、⑨政策・制度のとりくみ、⑩反戦・平和と民主主義を守る闘いを、第10回の執行委員会で提起した。また組織強化拡大の課題として、①組織強化のとりくみ、②関西ブロック体制の強化、③自治労大阪府本部・公民評との連携強化、④福祉・共済活動の拡充、などを五役会議や組織強化拡大委員会でも協議した。特に前回の執行委員会では時間にも限りがあったため組織強化について十分に時間をとって協議をした。詳しくは後述するが、運動方針(案)の細かな内容や問題提起については今後さらに検証するとともに、全国一般評議会などの議案書を含めて精査していく。

組織強化拡大・地裁労働委員会の闘い

今年度は全国一般大阪では2単組が新組合として結成をした。新たに結成されたさくら会病院労働組合に関しては後述するが、昨今、労働組合の組織率が年々減少傾向にある中で組織拡大は全国一般大阪としても、非常に嬉しいことで今後とも、この労働組合の組織を維持すべく、拡大をはかっていくためには全国一般大阪全体で支えていかなければならない。

また、今年度の労働相談件数は昨年同様の200件近くに達する見込みで、①ハラスメント、②退職勧奨、③賃金問題についての相談が多くを占めている。今年度のユニオンおおさかは新たに14支部が立ち上がり、18名の加入者数だった。また、非公然ながらユニオンおおさかに加入している人も多く、その人たちを対象にしたユニオンおおさか職場交流会も今年度から開催をしていて、多くの仲間が参加をしている。ユニオンおおさか執行部や青年女性部との交流を深めるとともに、若手活動家の育成にも注力していく。特にユニオンスクールやその他の学習会や野外活動などにも参加をしてもらえるよう、積極的に参加を呼びかけていく。

また、地裁・労働委員会の闘いではユニオンおおさかの丸文支部とEQWEL支部が和解で決着をした。その他内藤証券労組、言語交流研究所労組、ユニオンおおさかのシークス支部、マテロックス支部、アクタス支部、エムシーインターナショナル支部、内藤証券本社支部など、まだまだ闘争を抱えているところもあり、全国一般大阪全体としても地裁・労働委員会の闘いを、物心等も含めて支援をしていく。

さくら会病院労働組合(新組合)結成！



8月23日の第11回執行委員会では、8月17日に結成通知をしたさくら会病院労働組合について詳しく紹介をした。さくら会病院は大阪狭山市にある地域医療を担う147床の救急病院でもあり、職員数は300名ほどいる。

この間、本部とさくら会病院労働組合の執行役員は5月末から8月初旬まで約10回の学習会を行い、また7月27日には約14名が参加をして結成大会の準備に向けた全体集会を行った。そして結成大会を8月16日に大野コミュニティで行い、当日は当該から16名が、全国一般大阪からは11名が参加をしてさくら会病院労働組合結成大会の祝辞と激励をした。翌17日には結成通知を病院に提出した。主な要求内容としては、①職場の労働条件などに関する事項、②公正な賃金・一時金体制の確立、③労働基準法などの法令遵守に関する事項、④事前協議・組合活動に関する事項、などの要求事項を掲げた。その他にも当該が訴えている様々な諸問題が山積している。離職率の高さ、賃金体系のかたよりの、各部署でハラスメントが横行している、などの付帯要求も初回の団体交渉で議題に上げていく。さくら会病院労働組合は仲間意識と団結力が強く、これは労働組合を維持していくには大事なことである。またピラや組合ニュースの発行などを当該で発行してオルグ活動を行って今後仲間が増えることが期待される。これから困難な場面も出てくることを予測されるが、本部も全国一般大阪執行部を中心に、しっかりと支援・指導・協力などを要請していく。

ユニオンおおさか学習交流会開催！

ユニオンおおさかは、8月26日、エルおおさか南館において28名の仲間が結集して2023年度学習交流会を開催した。



を演出して始まった。冒頭、道脇執行委員長が挨拶。道脇委員長は今年、物価高の春闘、労働相談対応、争議におけるユニオンおおさかの奮闘を報告し、ユニオン運動に関する活発な討論を促した。続いて、参加者が自己紹介を行い、木下書記長の講演に移った。

木下書記長は次のように問題提起した。『ユニオンが経営側の攻撃を受けた労働者の最後の砦になっているが、回転ドアと言われている現状を克服して組織の強化・拡大を実現しなければなりません。そのためには合同労組とは何かの原点を反省し掘り取る必要があります。合同労組とは「職場をこえた横断的な一つの組合」であり、個人加盟は主体的にこの団結の輪に結集するということ、企業主義の枠を超えて。そのためには職場や地域において仲間をつくっていくことが大切である』と。この問題提起の後、質疑討論を行った。非公然組合員Aさんは猛烈な暑い職場で壊れたクーラーの買い替えを求め仲間づくりを行っていること報告し、都島自動車学校支部長は「弱小組合なので、流し台がほしい、DVDを買い替えてほしい、古いパソコンを換えて、とか職場のみんなが困っているような取り組みをして仲間をつくっていくことが大切」と応じた。非公然組合員Bさんは「仲間づくりは困難、皆不満を言っている、いざという時には腰が引けてしまう」というように悩みを相談した。マルカミ物流支部の仲間からは「人数だが信頼できる仲間がいる。一人攻撃されたらみんなを守る。信頼できる仲間をつくること」が大事」と訴えた。

職場報告ではエムシーインターナショナル支部の仲間が組合員を4名に増やした報告、南海グループ支部、共立産業支部、アレス支部、進栄技研支部の仲間が支部を結成した意義などを語った。こうした討論を受け田村副委員長が「労働者は最初に自分が困ったことで立ち上がる、闘いの中で人々のために社会のために、と変わっていく」と学習交流会の討論をまとめた。



最後に、すべての仲間が都島自動車学校の仲間の音頭で「団結ガンバろう」を斉唱し学習交流会をしめた。

～全国一般評議会第19回定期総会へ参加～

表題の定期総会が8月20日と21日にかけて自治労会館で開催された。約3年振りに対面中心の参加で、会場には70名以上の仲間が結集をしていた。全国一般大阪からは福島委員長、宇野副委員長、太田書記長、本田執行委員、京都枠で土谷特別執行委員が参加をした。

冒頭のあいさつでは福島議長が「今春闘で実質賃金が目減りしている現状を認識し、次回からは闘う春闘の実現をめざしていこう。そして岸田政権は戦争を始める準備をしていることに反対の意を唱え、政治を変えるべきだ」と強く訴えた。来賓のあいさつを終え、亀崎事務局長が、第1号議案(2024運動方針案)、第3号議案(評議会副議長の定数削減案)を、種井事務局長が第2号議案(秋季年末闘争案)をそれぞれ提案した。その後、質疑応答が4地方労組からあり、亀崎事務局長が答弁をした。1日目の総会終了後、東京グリーンパレスホテルで懇親会が行われ、久しぶりの交流会であったので大いに盛り上がった。特に関西ブロックでも総勢15名ほどが参加をしていた。

2日目は争議組合報告からスタートした。石川、大阪、愛媛、福岡の各地方労組が報告をした。大阪からは太田書記長が今年組織化した、近畿制動関連労組の厳しい闘いの現状報告と、8月17日に新たに結成したさくら会病院労働組合の報告などをした。その後、1号・2号議案に関する討論では各地方労組から、さまざまな意見が出て亀崎事務局長が答弁をした。昼食後、第4号議案(候補者の届出状況と新役員選出)として、退任役員と新役員の紹介・あいさつが行われた。その後、特別決議が行われ、閉会あいさつと福島議長の団結がんばろうで閉会した。

全国一般評議会の定期大会に参加をした感想としては、今年の大会は久しぶりの原則対面参加ということもあり多くの仲間が参加をしたためか、議論が紛糾したり一時中断をして審議に入るなど内容の濃いものだったと思う。各地方労組ともにそれぞれ大きな問題を抱えているところがほとんどで、大阪に関しては組織的にも大きく、今後の全国一般運動の中心的存在になっていかなければならないと改めて感じた。今回、宇野副委員長と本田執行委員が参加をしたことは非常に大きな意味があったと思うし、今後もそういった若い執行部の参加を促していきたいと思っている。

～第14回大阪労働者弁護団合同交流会へ参加～

8月5日、PLP会館5階大会議室で第14回大阪労働者弁護団合同交流会が開催され、全国一般大阪からは太田書記長と西村書記次長が参加をした。平方かおる弁護士(代表幹事)が冒頭のあいさつをし、記念講演として照屋エイジ弁護士が「外国人労働者に寄り添い、共に闘う」というテーマで約1時間講演をされた。ブラジル国籍を有する日本弁護士として、多くの外国人事件に取り組んで来られた経験や解決にあたる中で感じる難しさややりがい、また労働組合に求めていることなどを、非常に丁寧に講演された。

全国一般大阪としても、今後組織を拡大していく中で問題になってくるのが外国人労働者の問題でもある。現在各職場でもこのような問題に直面しているところは少ないが、今後は外国人技能実習性の問題や入管法など、労働組合としても対応しなければならない事柄なので、そういった面でも我々が学習するきっかけになったと思うし、非常に勉強になる学習交流会であった。

全国一般大阪 第64回定期大会に結集しよう!!

日時 2023年9月30日(土) 10～17時
場所 案内を発送していますのでご参照ください。
内容 2023運動総括、2024運動方針案・予算案等、多くの代議員のご参加で大会を盛り上げ、成功させましょう!

メッセージ等の送付先は、全国一般大阪事務所まで郵送やメール等(9月29日必着)でお待ちしております。何かございましたら書記局までご連絡下さい。

みなさんのご参加をお待ちしております!!

当面のスケジュール

Table with 3 columns: Date, Event Name, Location. Includes dates from 2023年9月 to 2023年10月 with various union activities and meetings.

地裁・労働委員会

Table with 3 columns: Case Name, Date, Status. Lists various court cases and labor committee proceedings with dates and outcomes.